

地域医療連携だより

きずな



号外

最新型手術支援ロボット



県西地域初!!

「ダビンチXi」が導入されました。

～ 詳細は裏面をご確認ください～ 

小田原地域看護連絡会を開催しました

令和5年11月29日に「小田原地域看護連絡会」を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、近年はオンラインでの開始が続いておりましたが、今回から対面での開催を再開しました。当日は約3年ぶりの対面会議であったにも関わらず、50人以上の看護職の方にご参加いただきました。

※1
今回の連絡会では「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について 看護職ができること」をテーマとして取り上げました。厚生労働省が作成したビデオを用いて、実際に身近な人を亡くされたご家族・医療関係者の想いについて学び、その後グループご



会場：おだわら総合医療福祉会館

とに視聴した感想と看護職として出来ることについて意見交換をしました。役割や立場が違う看護職がそれぞれの視点で話し合うことで新たな気づき生まれ、お互いの役割を活かして真摯に患者さんと向き合うことが大切であると再確認しました。また、連絡会終了後においても、自然と参加者同士の交流が生まれるなど、対面ならではの光景を目にすることが出来ました。

小田原地域看護連絡会では、地域住民が安心して生活できるよう、あらゆる地域で活躍する看護職の質向上と連携強化を目標として掲げております。今後ともご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

※1 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは、患者さんの人生観、価値観、希望に沿った将来の医療やケアを実現するべく、患者さんの考えをご家族や医療者と話し合い、共有するプロセスのことです。

<参加者>

計 54名 (21施設)
病院、訪問看護ステーション
行政、包括支援センター
介護施設、障害施設 等

<次回予定>

テーマ：「災害対策」（予定）
日時：令和6年2月16日（金） 18：30～20：00
会場：おだわら総合医療福祉会館
※県西地区ソーシャルワーカー実務研究協議会と合同で開催します。

最新型の手術支援ロボットを導入！ ～県西地域初～

小田原市立病院に、県西地域初の手術支援ロボット「ダビンチXi」を導入しました。「ダビンチXi」の導入は、2026年春の開院を目指して進めている新病院建設事業の医療DX機能の一環であり、新病院における診療体制の充実を図ることを目的として先行導入しました。

ダビンチ手術とは？

腹腔鏡手術のひとつで、執刀医がロボットをコントロールしながら行う低侵襲手術です。「ダビンチXi」は患者さんの体に内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、3D画像を見ながらロボットアームを遠隔操作することで手術を行います。

ダビンチ手術のメリット

◆患者さんの負担を軽減します

傷口を小さくし、術後の痛みが少なくなる低侵襲手術を行います。出血も少ないため、入院期間が短くなり、早期の社会復帰が可能です。

◆安全で高度な手術を実現します

人間に生じる手先の震えを手ぶれ補正機能で補助をします。また、ロボットアームのため、従来の手術では届かない病変にも届くようになり、より安全で精密な手術が可能です。



市立病院で行えるロボット支援手術

泌尿器科 **前立腺全摘除術**

産婦人科 **子宮全摘術、仙骨腫固定術**

この他にも、呼吸器外科や消化器外科等行える手術を増やしていく予定です。

問い合わせ先

小田原市立病院 病院管理局 経営管理課

〒250-8558

小田原市久野46

TEL:0465-34-3175(代表)